



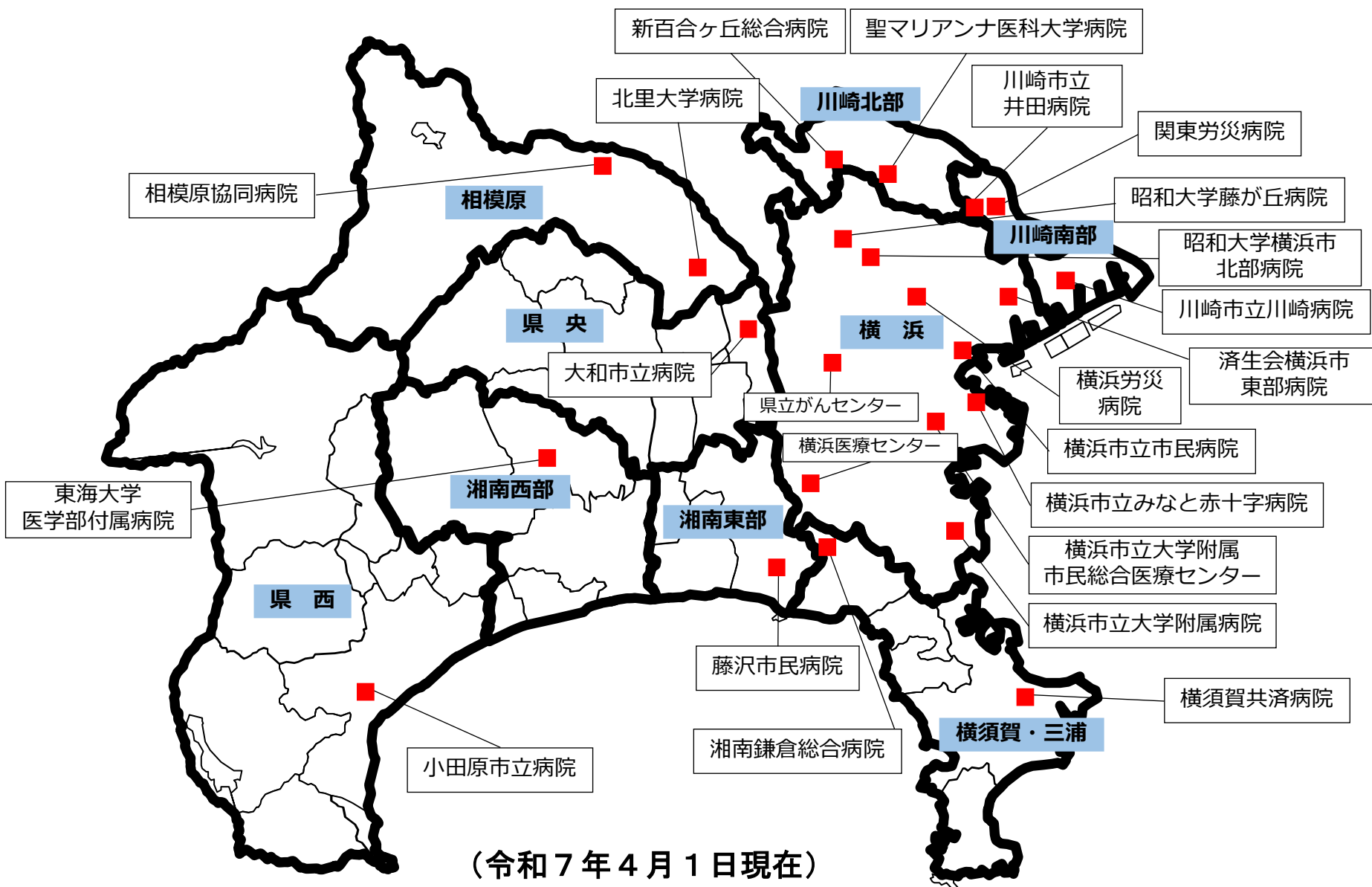
(1) 審議事項

ア がん診療連携拠点病院の国への推薦基準（方向性）について

目次

- ① **がん診療連携拠点病院の指定状況について**
- ② **課題**
- ③ **他府県の対応状況について**
- ④ **神奈川県における国への推薦基準（方向性）について**

① がん診療連携拠点病院の指定状況について



都道府県がん診療連携拠点病院
(県立がんセンター)

地域がん診療連携拠点病院
(22病院)

目次

- ① がん診療連携拠点病院の指定状況について
- ② 課題
- ③ 他府県の対応状況について
- ④ 神奈川県における国への推薦基準（方向性）について

② 課題

本県におけるがん診療連携拠点病院の指定の変遷（過去10年間）

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
新規指定	1 病院	0 病院	0 病院	0 病院	1 病院
拠点病院数	18病院	18病院	18病院	18病院	19病院

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
新規指定	1 病院	2 病院	0 病院	1 病院	0 病院
拠点病院数	20病院	22病院	22病院	23病院	23病院

② 課題

医療資源の偏在と 地域格差の拡大

- 医療圏単位で質の格差が生まれ、地域によっては質の高いがん医療を受けられない可能性がある。

専門医の不足

- 専従の放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の人数（基準：1人以上）等、国の基準を満たせず、がん診療連携拠点病院としての継続が困難になる。

連携体制の実効性 の低下

- 地域の実情に応じて病院間の連携が必要な医療等について役割分担の整理・明確化が求められているところ、効果的な連携が機能しなくなる恐れがある。（医療需要が少ない分野や、医療従事者が不足している地域等）

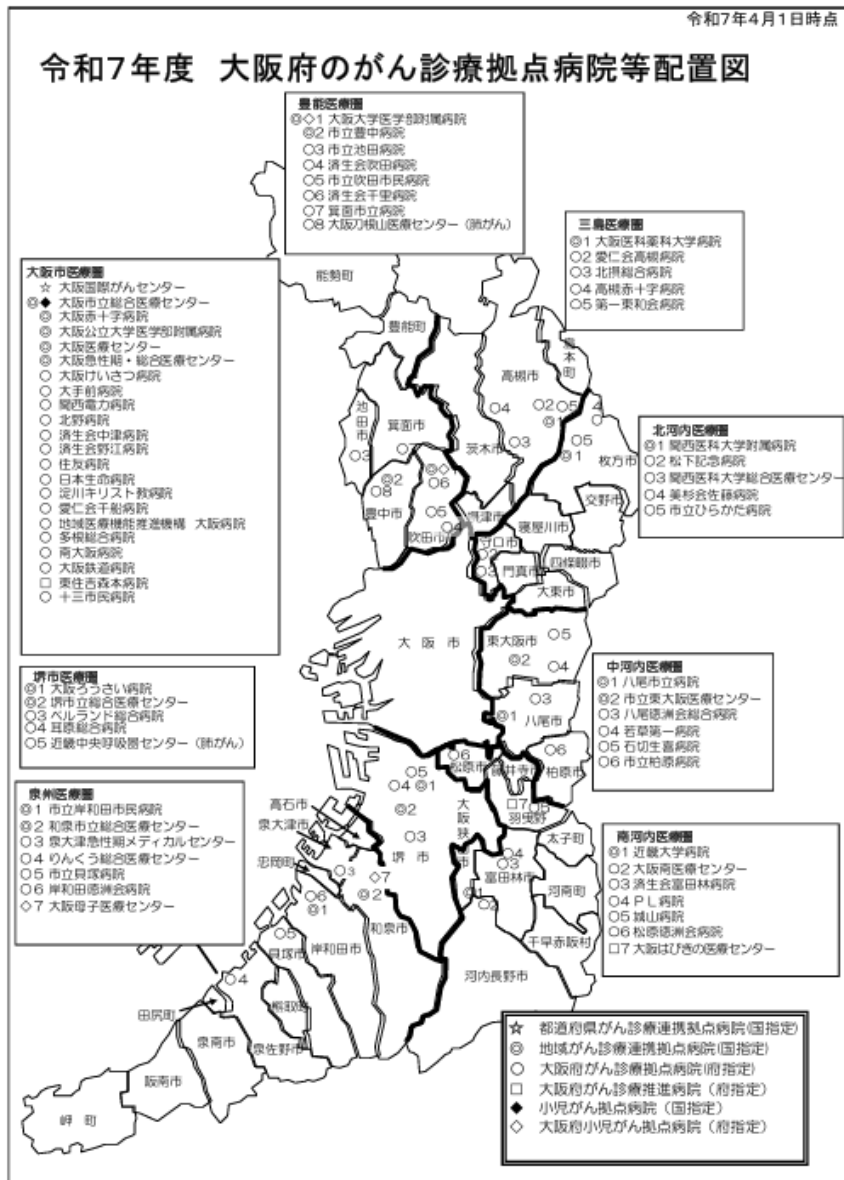
目次

- ① がん診療連携拠点病院の指定状況について
- ② 課題
- ③ 他府県の対応状況について
- ④ 神奈川県における国への推薦基準（方向性）について

③ 他府県の対応状況について（大阪府）

【大阪府内のがん診療拠点病院】（令和7年4月1日時点）

国	府	府	府	府
(国)	(府)	(府)	(府)	(府)
豊能	2	5		1
三島	1	4		
北河内	1	4		
中河内	2	4		
南河内	1	5	1	
堺市	2	2		1
泉州	2	4		1
大阪市	6	15	1	
合計	17	43	2	2



- ・国拠点病院が1病院である医療圏（三島・北河内・南河内）を新規指定申請の募集対象としている。
- ・国の指定要件を全て満たしていることに加え、他の既指定病院との相乗効果について説明を求め、当部会における審査で相乗効果が極めて高く、国の指定が認められる可能性が高いと考えられる場合に推薦を行う。

③ 他府県の対応状況について（愛知県）

愛知県 令和7年4月1日現在の医療圏の状況と指定状況

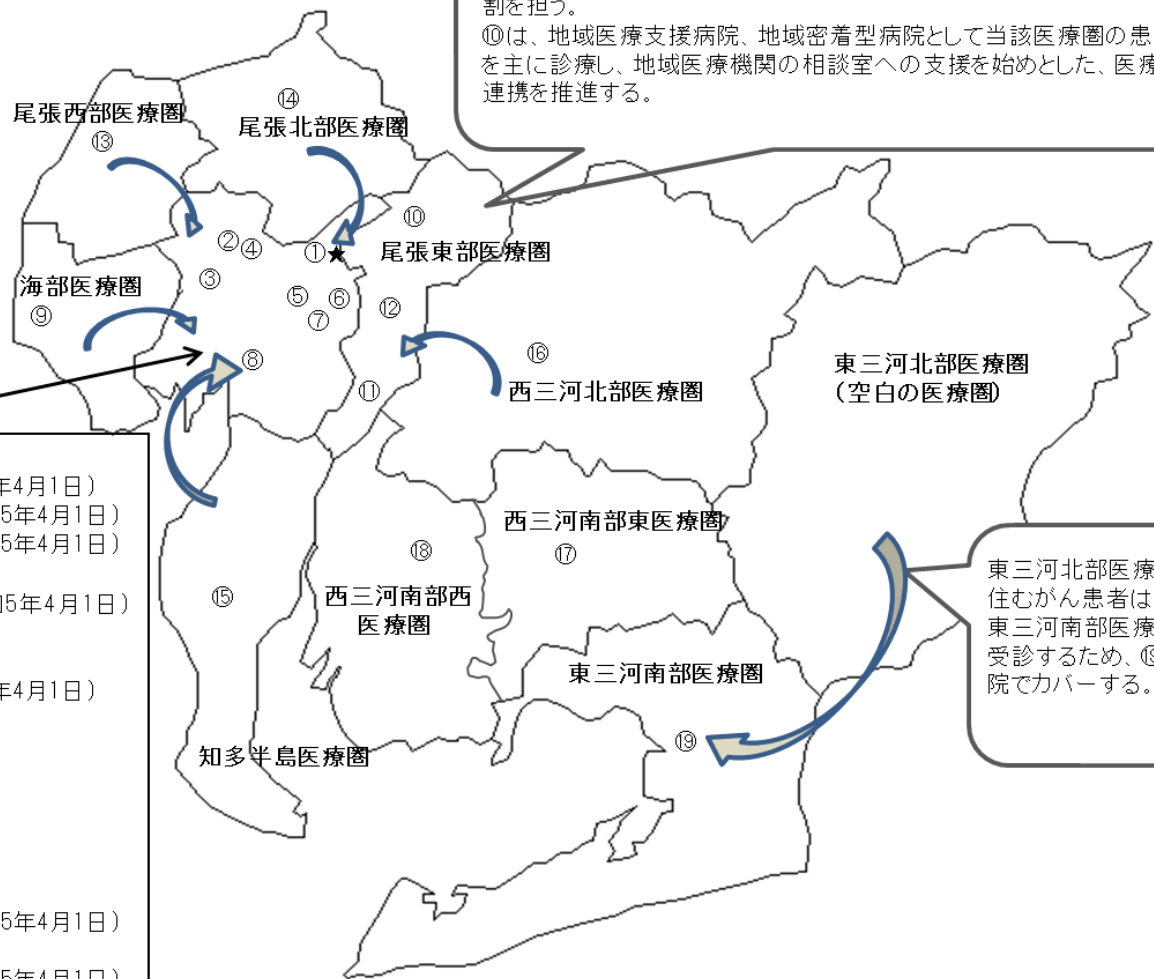
★：都道府県拠点 ◇：特例型

①は都道府県拠点病院として、県のがん医療を牽引し、⑤、⑦の大学病院は、豊富な人材と高度な診療能力を活かし、全県的に患者を受け入れ、人材育成、診療支援など、①を補佐する役割を担う。

人口が集中した都市部の医療圏の概ね東西南北を②③④⑥⑧が担当し、更に、近隣医療圏から流入する患者を受け入れる。

②は陽子線治療の拠点として県全体をカバーする。
また、それぞれの得意な分野で、地域にとどまらず県全体のがん医療の中核的な役割を担う。

⑪、⑫の大学病院はその豊富な人材と高度な診療能力を活かし、全県的に患者を受け入れ、人材育成、診療支援など、①を補佐する役割を担う。
⑩は、地域医療支援病院、地域密着型病院として当該医療圏の患者を主に診療し、地域医療機関の相談室への支援を始めとした、医療連携を推進する。



・ 国の指定期間に合わせて4年に1度の推薦。

・ 名古屋尾張中部に都道府県拠点病院を除いて7病院あるが、この数を上限としている。

・ 令和4年度が更新の時期であり、当時の審議会に9病院を報告。

・ 1病院が指定要件を満たしておらず、さらに1病院は満たしているが、順位が最下位であった。最下位とした理由は診療実績、診療提供体制など総合的に成績が低かったため。

- ①愛知県がんセンター★(令和6年4月1日)
②名古屋市立大学医学部附属西部医療センター(令和5年4月1日)
③日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院(令和5年4月1日)
④独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター(令和5年4月1日)
⑤名古屋大学医学部附属病院(令和5年4月1日)
⑥日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院(令和5年4月1日)
⑦名古屋市立大学病院(令和6年4月1日)
⑧地域医療推進機構中京病院(令和5年4月1日)
⑨愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院◇(令和7年4月1日)
⑩公立陶生病院(令和6年4月1日)
⑪藤田医科大学病院(令和6年4月1日)
⑫愛知医科大学病院(令和5年4月1日)
⑬一宮市市民病院(令和6年4月1日)
⑭小牧市民病院(令和5年4月1日)
⑮地方独立行政法人知多半島総合医療機構 知多半島総合医療センター(令和6年4月1日)
⑯愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院(令和5年4月1日)
⑰岡崎市民病院(令和5年4月1日)
⑱愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院(令和5年4月1日)
⑲豊橋市民病院(令和5年4月1日)

東三河北部医療圏に住むがん患者は主に東三河南部医療圏へ受診するため、⑬の病院でカバーする。

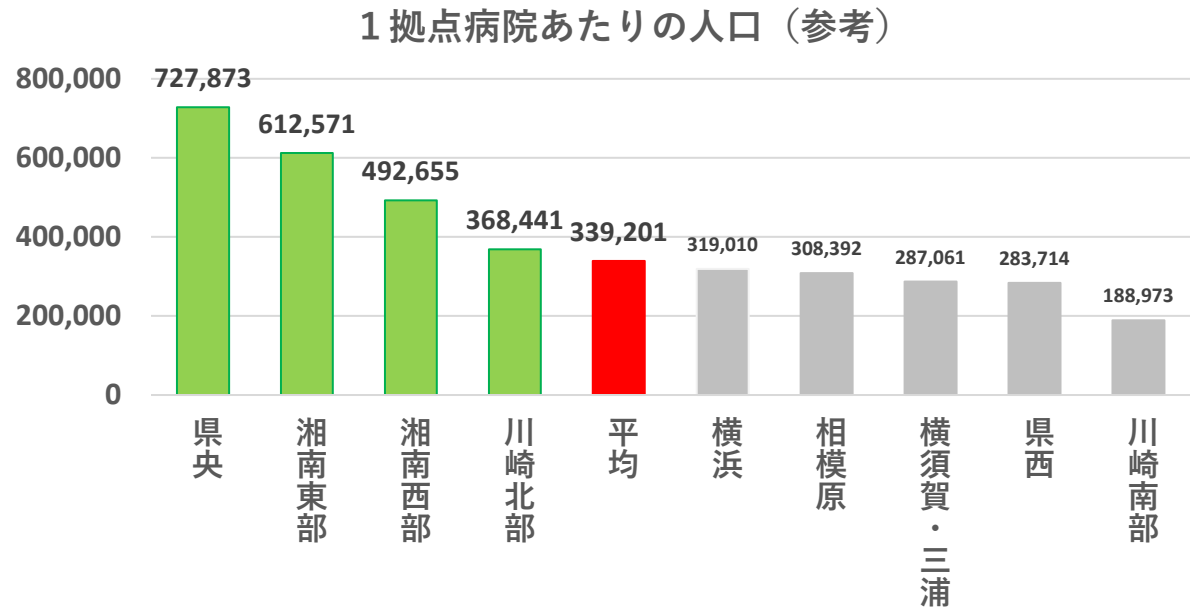
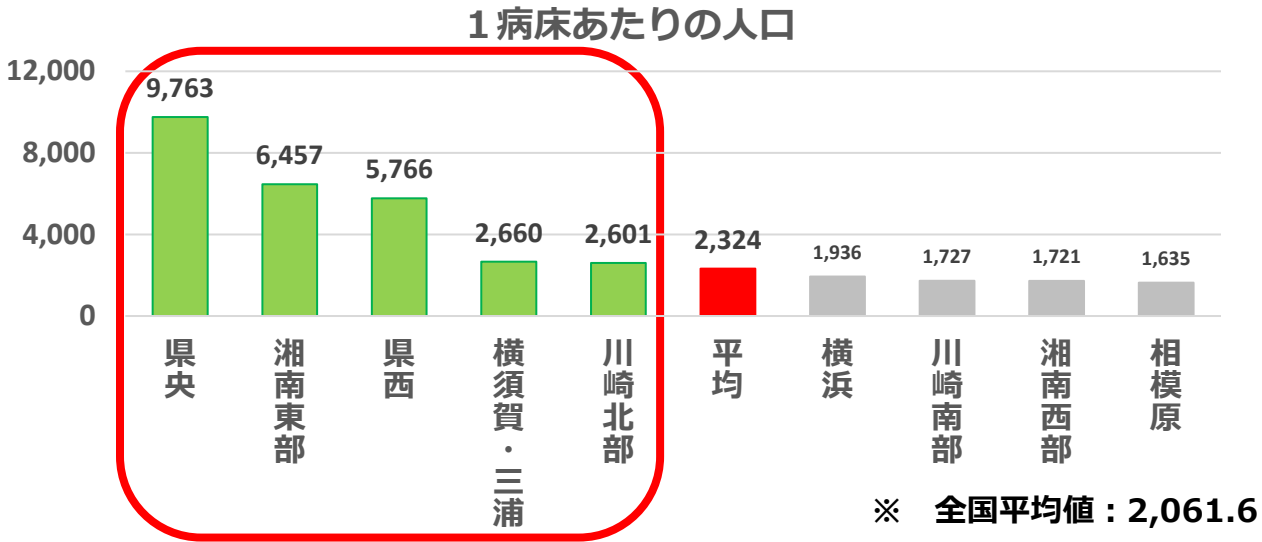
目次

- ① **がん診療連携拠点病院の指定状況について**
- ② **課題**
- ③ **他府県の対応状況について**
- ④ **神奈川県における国への推薦基準（方向性）について**

④ 神奈川県における国への推薦基準（方向性）について

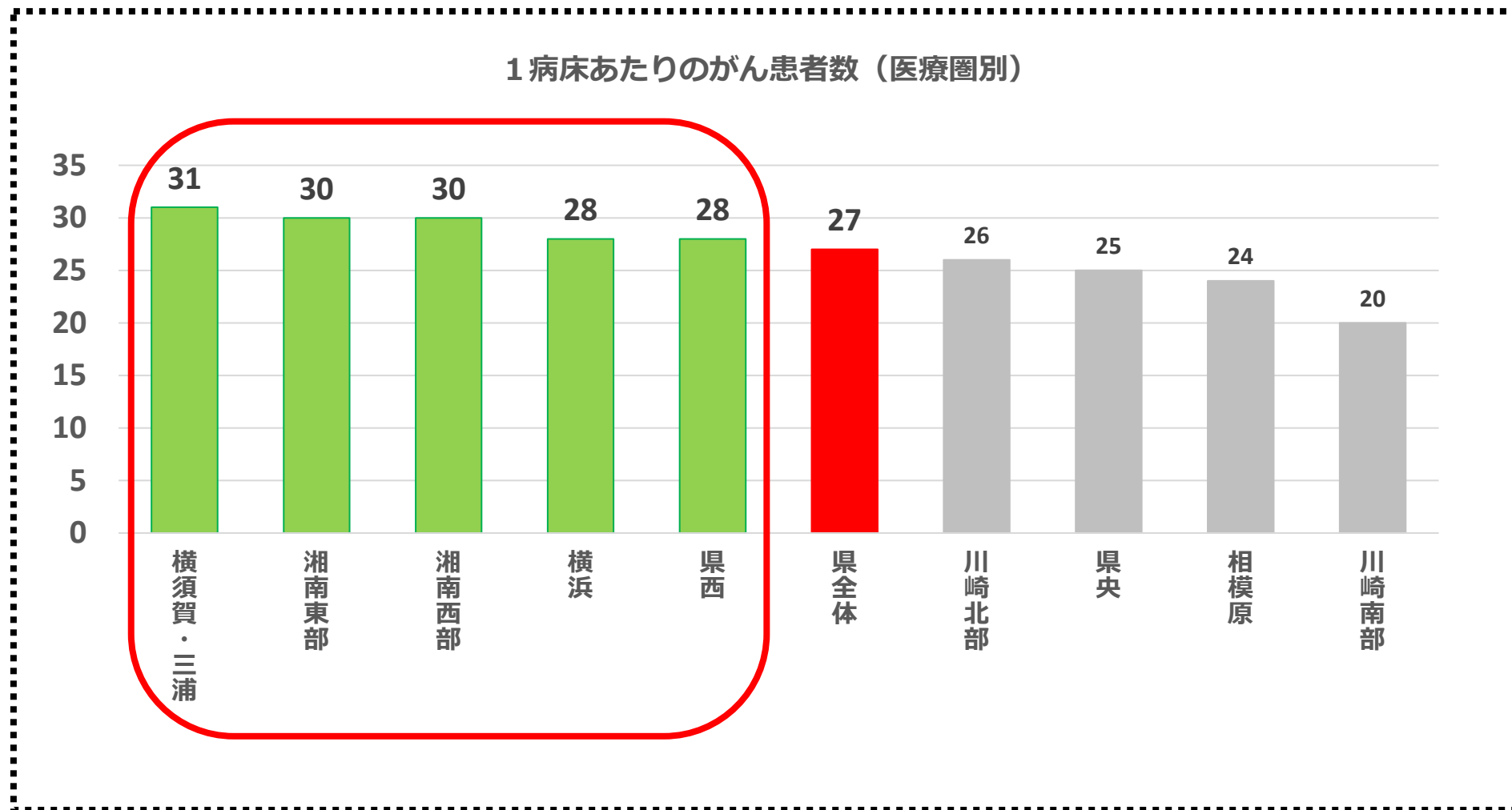
● 医療圏別_1 拠点病院あたりの人口及び1病床あたりの人口

二次医療圏	病院数	人口 (0～19歳を除く)	1病院 あたりの人口	1病床 あたりの人口
横浜	10	3,190,104	319,010	1,936
川崎北部	2	736,882	368,441	2,601
川崎南部	3	566,918	188,973	1,727
相模原	2	616,784	308,392	1,635
横須賀・三浦	2	574,122	287,061	2,660
湘南東部	1	612,571	612,571	6,457
湘南西部	1	492,655	492,655	1,721
県央	1	727,873	727,873	9,763
県西	1	283,714	283,714	5,766
合計	23	7,801,623	339,201	2,324



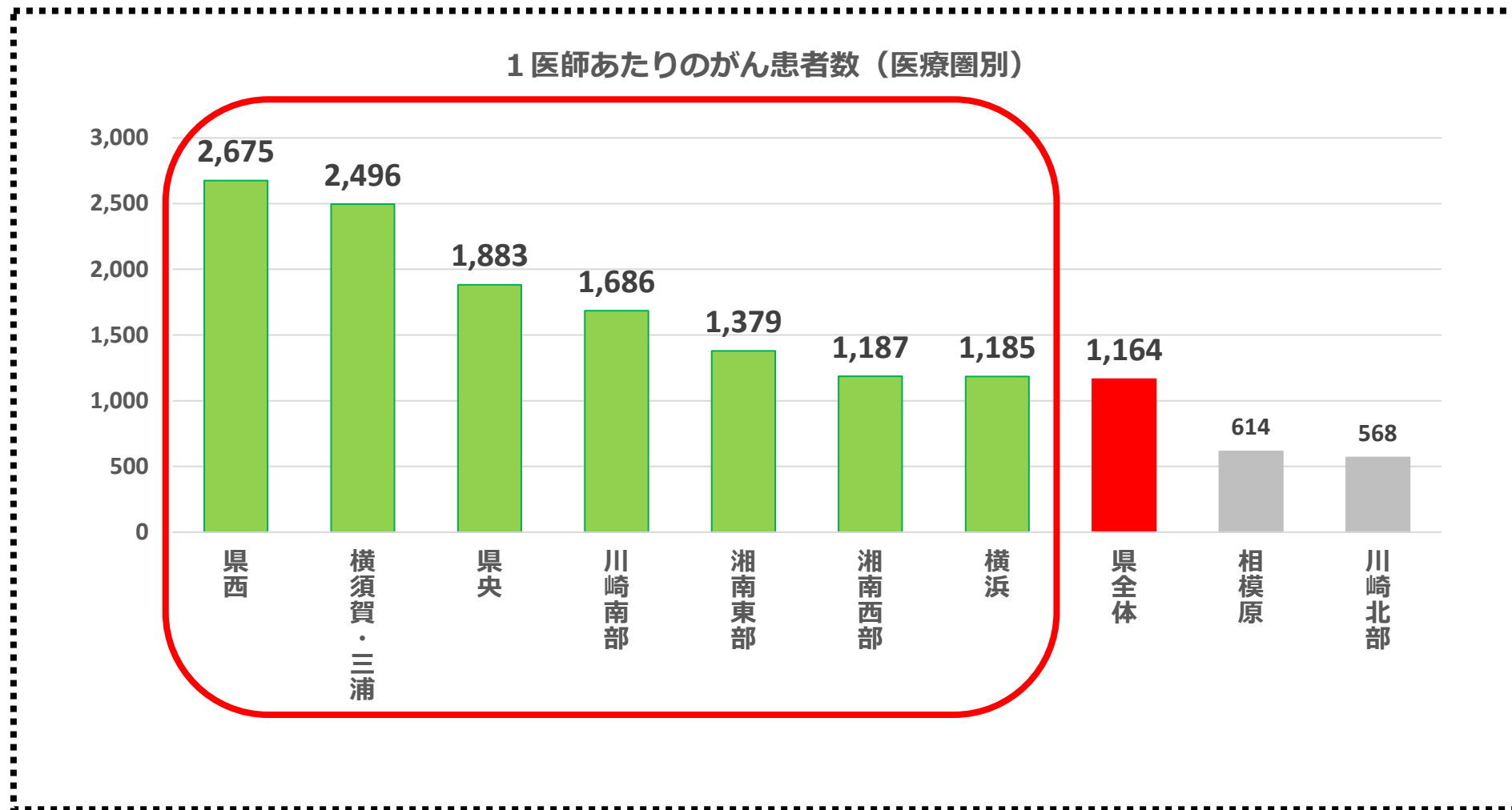
④ 神奈川県における国への推薦基準（方向性）について

● 1 病床あたりのがん患者数（病院別及び医療圏別）



④ 神奈川県における国への推薦基準（方向性）について

● 1 医師あたりのがん患者数（病院別及び医療圏別）



④ 神奈川県における国への推薦基準（方向性）について

